



学校の窓から

令和2年10月24日号

運動と森合小の子どもたち 福島市小学校陸上競技大会

9月30日(水)に福島市小学校陸上競技大会が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のため、6年生の選手のみでの参加でした。6年生がこの大会にどのような気持ちで臨んだのか、選手壮行会での代表児童の言葉に表れています。

【応援の言葉】

いよいよ陸上競技大会が近づいてきました。選手の皆さんは、いつも一生懸命に練習に取り組んでいましたね。記録が思うように伸びず、悩んでいたこともあったと思います。でも、今まで取り組んできた練習を信じ、森合小学校の代表として大会に臨んでほしいと思います。私たちは会場で応援することができませんが、学校で応援しています。そして、自己ベストが出せるようにがんばってください。(梅内 優)

【決意の言葉】

8月末、私たちは福島市小学校陸上競技大会の選手に選ばれました。この1か月間、それぞれの種目を一生懸命練習してきました。先生方には、種目のアドバイスや励ましの言葉をたくさんいただきました。先生方、お忙しい中、今日までご指導いただき本当にありがとうございました。本来ならばこの大会は5年生も出場するはずでしたが、今年は新型コロナウイルスの影響で私たち6年生のみの出場となりました。そのため、他の6年生にも5年生にも、はずかしくない姿を大会では見せられるようにしたいと思います。先生方とみなさんの思いにこたえられるように、森合小学校の代表として、私たち20名でそれぞれの種目を全力でがんばってきます。応援よろしくお願いします。本日はありがとうございました。(齋藤愛依菜)

みんなの期待を感じながら覚悟をもって取り組む選手、ひたむきに練習する選手を心から応援する友達、指導に当たった先生方への感謝の気持ちが表れていると思います。こうして一生懸命取り組んできた結果、次の入賞者を出すことができました。5年生にとっては、次年度への励みになったと思います。

【入賞者】

80mハードル8位 小原悠斗 女子4×100リレー4位
ボール投げ5位 瓶子雄多 齋藤愛依菜 野地夏妃
100m7位 齋藤愛依菜 小川智子 大橋菜璃
走り幅跳び4位 原ちひろ 野地実怜



運動会に向けて～2年生の掲示板から～

来週10月31日(土)は運動会です。校庭から子どもたちの元気な声や明るい音楽が聞こえてきます。競技に臨む子どもたちの表情は真剣そのものです。運動会に向けて取り組んでいる子どもたちは、どんな気持ちなのでしょう？2年生の廊下に掲示されている「うんどうかいがんばりカード」から拾ってみました。(裏面に続く)

【めあて】

- かけっこでさいごまではしりたい。
- かけっこで1い・2い・3いのどれかにはいる。
- かけっこで3位い内に入って、シールをとりたい。
- おおたまころがしではやくはしりたい。
- おおたまころがしでいっしょになった人と力をあわせる。
- ラジオ体そうでまちがえないでやる。

【がんばること】

- かけっこのれんしゅうのときに、ころんでもあきらめないではしる。
- すこしでも足がはやくなるように、ぎょうかんやひる休みにできるだけたくさんはしる。
- 本気であきらめないでがんばって走る。
- 大玉ころがしで二人で力を合わせてがんばる。
- 土・日15分はあきらめないではしる。
- 足がはやくなるために、土よう日と日よう日にたくさん走る。

子どもなりに目標やそれを達成するための方法を考えていることが分かります。特に感心するのは、目標を達成するためには、根気強く努力を続けたり友達と協力することが必要だということ認識しているところです。こうした意識が、子どもたちの成長を促すことになると思います。ご家庭でも運動会のことを話題にして、がんばろうとしているお子様を励ましてください。

本校の子どもたちの体力・運動能力は・・・

じつは、本校の子どもたちの体力・運動能力には、大きな課題があります。下の表をご覧ください。これは毎年実施している新体力テストの集計結果を全国と比較したデータです。ご覧の通り全学年男女ともマイナスです。さらに詳しく言うと、全種目マイナスです。

学年	男 子			女 子		
	全国平均(H30)	本校平均(R1)	比較	全国平均(H30)	本校平均(R1)	比較
2	31.07	30.64	-0.43	31.39	28.74	-2.65
3	38.87	35.55	-3.32	38.74	36.45	-2.29
4	45.26	41.41	-3.85	45.38	40.73	-4.65
5	50.26	49.86	-0.40	52.03	47.52	-4.51
6	56.64	52.88	-3.76	57.83	55.84	-1.99

体育の授業を見ている、子どもたちの動きのぎこちなさや関節等の可動域の少なさを感じます。巧緻性（運動の目的に合わせて巧みに調節された能率的な動作）が育っていないことが要因かと思えます。この能力は体を動かさないことには向上しません。しかし、学校生活を見ていると、天気の良い日の休み時間でも室内で過ごしている子がいます。「運動をしたがらない子」が増え、体力・運動能力にも2極化が現れてきているのです。体力は子どもたちの精神的な強さに影響します。運動は脳の活性化にも影響します。それらの能力が低いということは、子どもにとって深刻な問題なのです。

体力・運動能力向上のための本校の方針は「楽しく運動や外遊びをする」ことです。楽しく運動するれば自ずと運動量が多くなり、「もっとできるようになりたい」と思って取り組めば技能も高まります。その一つとして、運動会の後は持久走に取り組みます。自分なりの目標をもって友達と励まし合いながら、最後まで走りぬくことができるようにしていきたいと思えます。その過程では、ご家族の励まし子どもたちの背中を押すこととなります。また、普段から自分で登下校したりできるだけ体を動かしたりするように促してください。さらに、休日等はご家族一緒に運動に取り組んでみてください。きっと体を動かすことが楽しくなると思えます

ありがとうございました

- 10月10日(土)にPTAグリーン活動では、環境部の方々を中心に、多くの保護者の皆様にご協力いただき、校舎の窓ふきや花壇の草取りをしていただきました。おかげさまでとても気持ちの良い環境になりました。ありがとうございました。
- 森合地区体育協会長の黒澤努様より、次亜塩素酸水（エイ・エス・ピー製）をいただきました。教具や設備等の消毒に使わせていただいています。ありがとうございました。